

日本史 B	報告課題第 6 回 解説	年	組	氏名	
-------	--------------	---	---	----	--

◎教科書『詳説日本史 B』 p156～195をしっかりと読みましょう。

また、以下に書かれている学習内容の解説を読み、理解を深めましょう。

〈ポイント〉 報告課題は教科書からの抜きだし問題が多くあります。

報告課題の文章と教科書の文章を照らし合わせながら問題を解き進めましょう。

1. 「織豊政権」

○織田信長政権

織田信長は、家臣団の城下町への集住を徹底することで強大な軍事力をつくりあげ、すぐれた軍事的手腕で戦国大名をつぎつぎと倒していきました。近畿・東海・北陸地方を支配下に入れ統一事業を完成しつつありましたが、独裁的な政治手法は人々の不満を生みます。そして1582年、京都の本能寺にて明智光秀に背かれて敗死しました。

○豊臣秀吉政権

信長のあとを継いで、全国統一を完成したのは豊臣秀吉です。秀吉は、新しく獲得した領地に検地を施行し、農民を農業に専念させるために刀狩令をだして武器を没収するなどの政策をおこないました。

2. 「幕藩体制の成立」

1603年、徳川家康は全大名に対する指揮権の正統性を得るため征夷大將軍の宣下を受け、江戸に幕府を開きました。(江戸時代)

3. 「幕藩体制」

江戸幕府の3代將軍である徳川家光は、1635年に新たな武家諸法度(寛永令)を發布しました。その中で、大名には国元と江戸とを1年交代で往復する参勤交代を義務づけます。強力な領主権をもつ將軍と大名が、土地と人民を統治する支配体制を幕藩体制といいます。